

会 議 録

会 議 の 名 称	令和 5 年度彦兵衛下小笠原遺跡ふるさとの森検討協議 会第 1 回会議
開 催 日	令和 5 年 6 月 2 7 日（火）
開 催 時 間	午前 1 0 時 0 0 分開会 ・ 午前 1 1 時 3 0 分閉会
開 催 場 所	白岡市役所 4 階 特別大会議室
会 長 の 氏 名	小 峯 昇
出 席 者 の 氏 名・出席者数	彦兵衛下小笠原遺跡ふるさとの森検討協議会委員 小 峯 昇、山下 幸一、久保木 孝夫、長谷川 敏夫、 浅井 嘉一、川島 大輝、工藤 己之助、加藤 一弘、 嶋崎 徹、早津 敦 1 0 人
欠 席 者 の 氏 名・欠席者数	彦兵衛下小笠原遺跡ふるさとの森検討協議委員 柴山 利幸、戸田 正勝 2 人
説明員の氏名	(1) 令和 4 年度事業報告について：松原 直美 (2) 令和 5 年度事業計画について：松原 直美 (3) いきもの調査について：松原 直美
事務局職員の 職・氏名	環境課 課長 関根 啓文 環境課 主幹 折原 浩幸 環境課 主査 今泉 和也 環境課 主任 松原 直美 4 人
会 議 次 第	1 開 会 2 委 嘱 3 あいさつ 4 議 題 (1) 令和 4 年度事業報告について：松原 直美 (2) 令和 5 年度事業計画について：松原 直美 (3) いきもの調査について 5 そ の 他 6 閉 会

配 布 資 料	会 議 次 第	
	資 料 1	令和5年度彦兵衛下小笠原遺跡ふるさとの森検討協議会名簿
	資 料 2	令和4年度白岡緑と土の会作業報告
	資 料 3	令和5年度白岡緑と土の会事業計画
	資 料 4	令和4年度彦兵衛下小笠原遺跡ふるさとの森にかかる消耗品購入一覧
	資 料 5	ひこべえの森いきもの調査について
	資 料 6	場所等見取図
	要 綱	彦兵衛下小笠原遺跡ふるさとの森検討協議会設置要綱

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
今 泉 主 査	1 開 会 会議を開会。
藤井市長	2 委嘱書の交付 藤井市長から変更のあった委員に対して委嘱書の交付を行う。
藤井市長 小峯会長	3 あいさつ 藤井市長からあいさつ。 小峯会長からあいさつ。 (藤井市長は退席)
小峯会長	4 議 題 (小峯会長が議長となり、議事を進行) (1) 令和4年度事業報告について (2) 令和5年度事業計画について 議事(1)「令和4年度事業報告について」、(2)「令和5年度事業計画について」、それぞれ関連があるため、一括して議題とする。事務局から説明を求める。
松原主任 小峯会長 A 委員	資料2及び資料3に基づき説明。 事務局からの説明が終了した。何か質問はあるか。 2005年頃、子供の時に冬のつどいに参加してくれた方に、昨年の11月にひこべえの森で会った。 当時はまだ荒れていた森を、私が所属するボランティア団体が中心となって整備して、子供たちが大きくなる頃にはきれいな森にしようと活動してきた。 「久しぶりに来た森はきれいになった？」と聞くと、「当時とあまり変わっていない。」と言われてしまっ

A 委員	た。
小峯会長 委員一同	もっときれいに保全しないといけないと思い、今は週 2 ～ 3 日は活動している。 他に何か意見や質問はあるか。 なし。 質問もないようなので、議題(1)「令和 4 年度事業報告について」及び議題(2)「令和 5 年度事業計画について」は報告済みとさせていただく。 次の議題(3)「生き物調査について」事務局から説明を求める。
松原主任 小峯会長	資料 5 に基づき説明。 新型コロナウイルス感染症の影響もあると思うが、参加者がいなかったのは残念である。 私の所属する団体も、多くのイベント等が中止となった。 今年度は参加者がいることを願う。 この件につき何か質問等あるか。
委員一同 小峯会長	なし。 質疑もないようなので、議題(3)「生き物調査について」は報告済みとさせていただく。
今泉主査 B 委員	議事が全て終了したため、議長の職を降りる。 小峯会長ありがとうございました。 今年度の冬のつどいの日程が確定したので、報告をさせていただく。 今年は 1 2 月 1 6 日（土）に開催予定である。 時間等の詳細はまだ決まっていないので、追って広報紙等で周知する。
C 委員 今泉主査	南側の民家に隣接している箇所について、虫や枝木の繁茂などの苦情は来ているか。 今月 2 週目に環境課職員が伐採作業を行った。

今泉主査	そのこともあり、苦情はない。
D 委員	隣地との境界は、人が通れるくらい、1 m 以上は木を伐採しておくことが望ましい。隣地とのトラブルを避けるのであれば、5 m 以上は必要である。
A 委員	森を訪れる人と話をしたのだが、東側に開けた土地がある。そこは私有地であると思うが、そこを取得してイベント等を行える場所にするのはどうかという意見を聞いた。
	購入するのはどうか。
関根課長	予算等の都合により難しい。
E 委員	昔、ひこべえの森でコンサートを行った。
	そのようなイベントを開催する予定はあるか。
A 委員	ひこべえの森の今後の方針について、後ほど話をしたいと思っているので、その際に併せて話をする。
	5 その他
今泉主査	その他に関して、まず D 委員から報告があるためお願いします。
D 委員	カシナガキクイムシの件についての報告である。 埼玉県内では、2020 年以降に発見されている。 埼玉県で発見される前は、静岡県、神奈川県、東京都の順に発見されてきた。 神奈川県で発見された際に視察に行ったことがあるのだが、たくさんの木が枯れていた。伐採をして被害の拡大を防ぐことが必要だが、あちらは山なので、伐採するにも簡単に人が入れず、人が入れたとしても伐採した木を運ぶことが困難であった。 トラスト協会で管理している上尾市原市にある 12 号地でも被害が出ている。一昨年、フラスが見られたため、カシナガホイホイといういわばゴキブリホイホ

今泉主査	1 基を常時設置する予定で、今年度については9月から3月まで設置する。 ひこべえの森に行った際は職員も掃除を行うが、ボランティアの方にも協力をお願いする。 来年度以降も予算の範囲内ではあるが、設置していく方向である。
A 委員	では、最後にA委員から話があるので、お願いします。 まず、D委員からあったキクイムシだが、種類は違うかもしれないが、ひこべえの森では2005年頃からフラスが見られるようになった。20年近く経つが、ひどい状態にならなくてよかったと思う。 では、私の話だが、森の管理に関しては先ほども言ったが、昔、森に来た人たちによくなったと思われるようにしていきたいと思っている。 本日配布したカラー印刷の資料にも記載はしたが、周囲から森の中を見渡せるくらい見通しがいいようにしたい。 人が森の中で心地よさを感じるためには、概ね50m先まで見渡せるのがいいとされている。そうすれば外からでも人がいるということもわかるようになる。 2つ目は木を残すところは残し、そのほかの部分はイベント時に使用するスペースとする。 この2つを基準として、森の整備をしていこうと思う。 森を訪れる人にとって、「この森はいいところだ。」と思われる保全の仕方を考えてやっていきたい。生態系を学ぶ場所としてもいい場所だと思う。 私は森にたくさんの人に来てもらいたい。 例えば、親子で来て、そこで共通の時間を持ってもらうとか、一人でふらっと来てゆっくりした時間を過

A 委員	ごしてもらえる、そんな場所を目指したい。 あくまでも私の案なので、今日集まった委員の皆さんには、色々な意見を伺いたい。 また、E 委員からお尋ねがあったイベントのことだが、私の所属する会でいくつか考えている。 今のところ、本の読み聞かせ会や自然観察会を計画している。
今泉主査	A 委員の発言に対して、何か質問や意見はあるか。
F 委員	ひこべえの森とは直接関係ないが、私が子供の頃はそこら中に森があり、そこで秘密基地を作って遊んだりしていた。 ひこべえの森もそのような場所として残していければと思う。
A 委員	ひこべえの森は森林とは違うので、F 委員が言ったように、人が来て、初めてその価値があると思う。
G 委員	ひこべえの森に行くまでの道が狭い。車がすれ違えるくらい広ければいい。
H 委員	昔はもっと狭かった。そして舗装もされていなかったが、何度も近隣住民が市にお願いして、すれ違いはできないが車が通れる広さになり、舗装もされた。
G 委員	森の中の園路は人工的に作ったのか。
A 委員	人が中に入って歩いたことで自然にできた道である。獣道のようなものである。
H 委員	森に行くまでの道は、もう少し広くすることはできないか。
関根課長	用地の取得や予算などの関係もあるので、広げるとは難しい。
C 委員	トイレを 1 基常設すると言っていたが、1 基では足りないと思われるがいかがか。
今泉主査	多くの参加者が見込まれるイベント時には、もう 1

今泉主査	基設置して２基体制にする予定である。
A 委員	１基あるだけでも大きな進歩である。 読み聞かせ会を行うボランティアとの打合せで森を案内したが、トイレのことは心配していた。
E 委員	駐車場はあるが、停められる台数が少ない。 イベント時など、臨時駐車場はあるか。 近所の方なら歩いて行けるが、私が住む地域からでは歩いていくことは難しい。
H 委員	近くに介護施設の「おおるり」があり、イベント時に市が借用依頼を出しているようである。
G 委員	「あけぼの集会所」にも１０台くらいなら置ける。
A 委員	広報紙にイベントの概要を掲載しているが、その情報とともに臨時駐車場があることも掲載してほしい。
H 委員	近くにバスが通るようになったので、それも使ってもらえれば来やすいのではないか。
D 委員	水場を作ることで、生き物が多く集まるかもしれない。上尾には直径１メートルくらいの小さな水場を作り、センサーカメラを付けたらタヌキなどの動物を見ることができた。 ただ、カメラは防犯のためにという良い面があるのとは反対に、プライバシーの問題もあり、設置については難しい。 あと、樹名板を付けることで、木について学ぶことができるので有効だと思う。
A 委員	イベントで思い出したのだが、柏市では「オープンフォレスト」というものをやっているそうだ。 そういったこともやっていきたい。
H 委員	A 委員が用意した資料には、入口付近にライブカメラの設置ということが記載してある。 過去の会議で監視カメラを設置するという案があっ

H 委員	たが、諸問題があり却下となった。
今泉主査	トイレを設置するのであれば、防犯上の観点からも監視カメラの設置は有効ではないか。 以前の会議記録を確認したが、その際は電源の問題があり設置できないという回答があった。 今回、改めてライブカメラについてどのようにすれば設置できるのか確認したところ、①ビデオカメラの購入、②電源の確保、③ネットワーク環境の整備が最低限必要だということが分かった。 購入と電源の確保は、現時点で可能かもしれないが、ネットワーク環境の整備は難しい。
A 委員	監視カメラという名目だとトイレの前あたりに設置することもあり、森を訪れる人が警戒してしまう。 以前にも言ったが、森の動植物を観察するライブカメラ、センサーカメラという名目でカメラを設置し、「生物調査中」等の看板をつけておくことで、不法投棄対策にも一定の効果があるのではないかと考える。 今は、駅前などどこにでもカメラはついている。プライバシーの問題というのは理由にならないと思う。
H 委員	その通りである。
E 委員	不法投棄などの抑止力としては有効である。
今泉主査	現時点ではプライバシーの観点ではなく、電源とネットワーク環境に係るランニングコストに課題がある。 他に何か質問等はあるか。
委員一同	なし。
今泉主査	6 閉 会 会議を閉じる。 以 上